



平成30年度 雲仙ふるさと景観百選受賞作品【ジオパーク／撮影場所：雲仙地獄（小浜町）】

主な内容

P2 令和元年第3回定例会概要

P7 常任委員会報告

P10 市政を問う「一般質問」

P13 小学生、議場見学

P16 3月定例会会期日程(案)

令和元年 第3回定例会の概要

令和元年第3回定例会が11月28日(木)～12月20日(金)の23日間開催され、議員6名の一般質問と条例関係16件、補正予算7件、指定管理者の指定3件などの議案について審議が行われ、採決がなされました。

令和元年度 一般会計補正予算の主な事業

**68万円の減額補正で、
補正後予算額は304億9,452万円**

○ふるさと応援推進事業

補正額 **1億1,417万円** 補正後 **4億3,328万円**

【増額補正の理由】

ふるさと納税において、年度当初の想定を上回る寄附金が寄せられており、年度末にかけて謝礼品等に係る予算の不足が見込まれるため。



○アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業【新規】

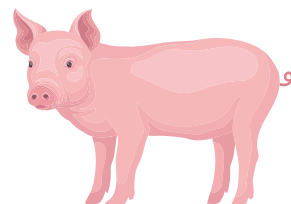
補正額 **267万円**

【事業目的】

A S F (アフリカ豚コレラ)の農場への侵入を防止するため、市内の養豚農場への野生イノシシ等の侵入防止用の柵(門扉を含む)を整備し、地域の養豚振興に資する。

【補正の理由】

長崎県への侵入リスクが高まっているA S F (アフリカ豚コレラ)に関し、感染した野生動物の農場への侵入防止策の実施及び令和2年度からの国の飼養衛生管理基準の改正による防護柵設置の義務化への対応のため。



○強い農業・担い手づくり総合支援事業

補正額 **1,414万円** 補正後 **1,789万円**

【事業目的】

令和元年8月から9月にかけての大雨及び9月22日の台風17号により、農産物の生産施設の被害を受けた農業者が、農業経営を維持していくために必要な農産物の生産施設の復旧経費を支援する。

【事業(補正)の内容】

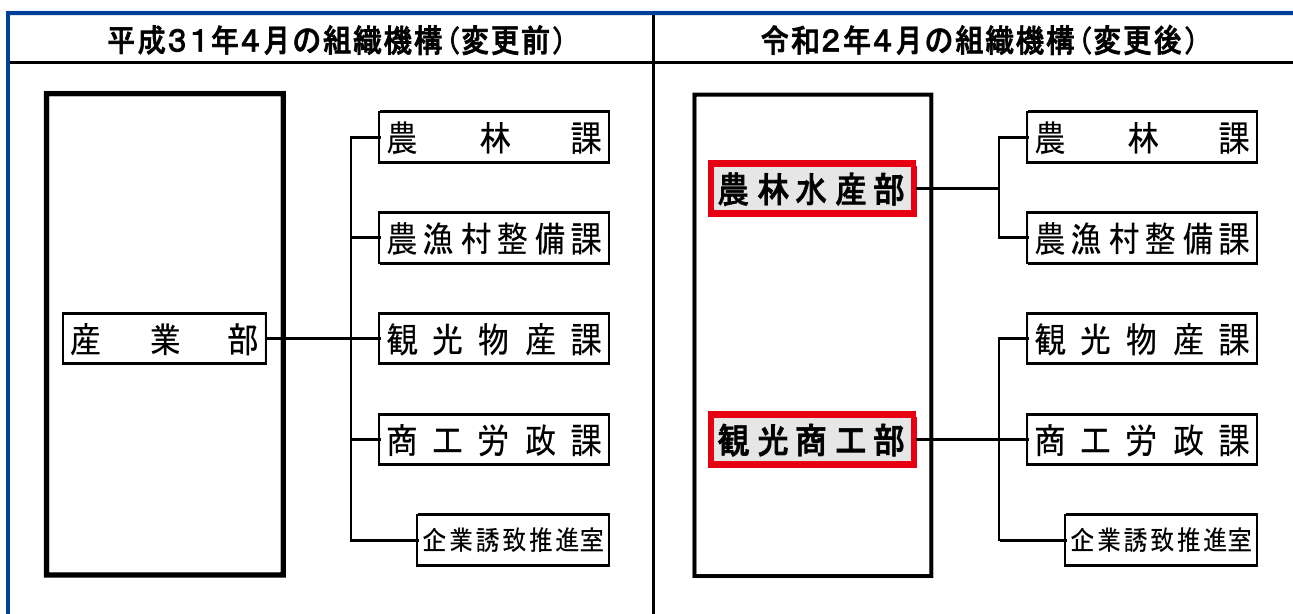
- ①事業期間 令和元年度
- ②対象戸数 27戸
- ③対象施設 農産物の生産施設
(農業用ビニールハウス、畜舎、堆肥舎)
- ④補助率 国50%以内、県5%以内、
市5%以内



被害を受けたビニールハウス

雲仙市設置条例の一部を改正する条例について

今回の条例改正は、農業、観光に特化した事業、観光と商工連携による事業を推進するため、**「産業部」を「農林水産部」と「観光商工部」へ組織再編を行う**ことに伴い、条例に規定されている部の名称変更及び追加並びに分掌事務の変更をするものです。



雲仙市リフレッシュセンターおばまの指定管理について

管理を行わせる施設の 名称及び所在地	指定管理者		指定期間
	住 所	名称及び代表者	
雲仙市リフレッシュ センターおばま 雲仙市小浜町南本町 24番地23	雲仙市小浜町 マリーナ12番地 シーサイド1 マンション305号	株式会社サンセット マリン雲仙 代表取締役 藤田 昭比古	令和2年 4月1日から 令和5年 3月31日まで

※指定管理者制度とは

公の施設の管理運営を民間業者に委ね、民間事業者の優れた経営ノウハウや技術等を活用することにより、管理経費の縮減、利用者へのサービス向上等を図ることが期待できる制度。



雲仙市小浜歴史資料館の指定管理について

管理を行わせる施設の 名称及び所在地	指定管理者		指定期間
	住 所	名称及び代表者	
雲仙市小浜歴史資料館 雲仙市小浜町北本町 923番地1	雲仙市小浜町 北本町688番地3	一般社団法人 OBAMA S.T. 代表理事 草野 有美子	令和2年 4月1日から 令和5年 3月31日まで



令和元年 第3回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 34 号	雲仙市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 35 号	雲仙市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	原案可決
議案 第 36 号	雲仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 37 号	雲仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 38 号	雲仙市役所部設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 39 号	雲仙市選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 40 号	雲仙市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 41 号	雲仙市瑞穂ヘルシー会館設置条例の全部を改正する条例について	原案可決
議案 第 42 号	雲仙市吾妻老人憩の家設置条例の全部を改正する条例について	原案可決
議案 第 43 号	雲仙市千々石老人福祉センター橘荘設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について	原案可決
議案 第 44 号	雲仙市小浜老人福祉センター設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について	原案可決
議案 第 45 号	雲仙市立木場ふれあいセンター設置条例の全部を改正する条例について	原案可決
議案 第 46 号	雲仙市立児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 47 号	雲仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 48 号	雲仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 49 号	雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 50 号	令和元年度雲仙市一般会計補正予算（第 5 号）案について	原案可決
議案 第 51 号	令和元年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）案について	原案可決
議案 第 52 号	令和元年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第 2 号）案について	原案可決
議案 第 53 号	令和元年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第 1 号）案について	原案可決
議案 第 54 号	令和元年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計補正予算（第 1 号）案について	原案可決
議案 第 55 号	令和元年度雲仙市水道事業会計補正予算（第 3 号）案について	原案可決
議案 第 56 号	指定管理者の指定について	原案可決
議案 第 57 号	指定管理者の指定について	原案可決
議案 第 58 号	指定管理者の指定について	原案可決
議案 第 59 号	教育委員会委員の任命について	原案可決
議案 第 60 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第 61 号	令和元年度雲仙市一般会計補正予算（第 6 号）案について	原案可決

人事案件

教育委員会委員



にれい ちかこ 氏
仁禮 智加子 氏

令和元年12月2日
令和5年12月1日（4年間）

教育委員会委員とは？

地方公共団体には、教育の政治的中立という観点から、教育事務を執行する機関として、地方公共団体の長から独立して自ら決定権をもつ教育委員会が設置されています。

雲仙市教育委員会では1人の教育長と4人の教育委員の合議により、教育行政の運営に関する重要事項について決定しています。

- 1 任命…議会の同意を得て市長が任命します。
- 2 任期…教育委員の任期は4年です。
- 3 身分…委員の身分は、特別職の地方公務員で非常勤です。



本委員会に付託された案件について、原案可決6件と決定しました。
 主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

雲仙市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定

質疑 今回の条例制定理由

の一つに、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行によるものであるとの説明があったが、その改正理由の主旨はどのようなものなのか。

答弁 これまで非常勤職員の位置づけが各自治体によってまちまちであったものを、今回の改正により会計年度任用職員に統一し、適正な任用、勤務条件を確保するものである。

質疑 現在の嘱託・臨時職員の位置づけはどのように変わるのか。

答弁 現在の嘱託・臨時職員の勤務時間は一般職員よりも短いため、会計年度任用職員のパートタイム会計年度任用職員という位置づけになる。

質疑 会計年度任用職員という名称が付けられた理由は何か。

答弁 一会計年度ごとに任用する職員という意味であり、呼称については各自治体によるものであるが、現在のところ本市においては、会計年度任用職員ということにしている。

雲仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

質疑 今回の改正で自治会長が特別職非常勤職員から除外されることになっているが、今後の自治会長の身分はどのようなものか。

答弁 現在の特別職非常勤職員から「私人」となる。違いとしては、報酬等に変更はないが、災害補償について、現在まで非常勤職員公務災害補償の対象であったものが対象から外れることになる。現在、新しい任意保険制度を全国町村会で策定中であり、今後は新しく策定される保険に加入することになる。

質疑 自治会長は、職務上知り得る情報があると思うが、「私人」となった場合、守秘義務等はどうなるのか。

答弁 現在、守秘義務等を含めた内容を盛り込んだ要綱を作成中であり、その内容については、毎年4月に開催している自治会長会議において説明を行いたい。

令和元年度一般会計補正予算(第5号)案

質疑 ふるさと応援寄附金が増額補正となっているが、昨年度と比較した場合、寄附額の伸び率はどのようになっているのか。

答弁 昨年度の12月10日時点の寄附額が1億63万円、今年度が1億3269万円となっており、約1.3倍の伸び率となっている。

質疑 寄附額に対するお礼品は何品目あるのか。

答弁 令和元年10月末現在で、53事業者の279品目である。

☆今回、愛の夢未来センター1敷地外に新しく駐車場が整備されており、その工事の進捗状況について現地調査を行いました。
意見 現在、整備されている駐車場から愛の夢未来センターへ行くには、センターの敷地がフェンスで囲まれているため、移動距離が長くなっている。そのフェンスの一部から人が出入りできるようにすれば、市民の利便性が向上するのではないか。





本委員会に付託された案件について、原案可決15件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

雲仙市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

質疑 災害援護資金を受けられる要件とはどのようなものなのか。

答弁 一つ目に、一つの市町において、住居が5世帯以上滅失した災害が発生した場合。二つ目に、県内において住居が5世帯以上滅失した災害が発生した市町が3以上ある場合。三つ目に、県内において、災害救助法が適用された市町が1以上ある場合。最後に、災害救助法が適用された市町を区域に含む都道府県が2以上ある場合と定められている。

雲仙市瑞穂ヘルシー会館設置条例の全部を改正する条例 ほか4件

質疑 瑞穂ヘルシー会館ほか4施設においては今後、市が直営することを想定されているのか。それともこれまでと同じように指定管

理者制度により管理を行うよう考えているのか。また、老朽化や利用者も限られている施設も見受けられるが、廃止等を含めた利活用の検討はしているのか。

答弁 今後も施設の有効活用という点では、指定管理者制度を活用していくよう考えている。今回の改正は、これまで指定管理者がなかった場合の規定がなかったため、改正案を上げさせていただいた。また、施設の廃止等今後の利活用については、施設の老朽化や利活用状況等を踏まえ、現在、協議を進めている公共施設等総合管理計画の中で整理をしていきたい。

雲仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

質疑 利用者負担額等の受領の改正案に、市町村民税所得割合算額が一定額未満世帯の副食費、満3歳未満

保育認定子どもの食事の提供が除かれるとある。雲仙市は独自で3歳以上の副食費の無償化を実施しているとの説明であったが、市町村民税所得割合算額が一定額未満世帯の基準額は同じなのか。

答弁 国が免除している一定額というのは、1号認定こども（旧幼稚園に通園することども）を持つ世帯は、合計7万7101円未満、2号認定こども（旧保育園に通園することども）を持つ世帯で5万7700円未満という規定となっており、国の副食費免除に該当する児童に関しては、国の免除を適用させ、この額より所得が大きい世帯については市独自に免除を行うようにしている。

指定管理者の指定

質疑 小浜歴史資料館の入場料収入が減ってきているが、増やすためには指定管理者の努力が必要である。そのあたりはどのように考

えているのか。

答弁 今回の指定管理者の提案にあたっては、小浜温泉に宿泊されている観光客をどうやって資料館に引き込むかということで、現在、月曜日が休館日であるが、日曜日に宿泊があった場合、月曜日を開館して出発前に立ち寄っていただく。午後6時までの開館時間を、夏の時期については、午後7時までに延長するなどの、開館日及び開館時間の弾力的な運用、また、喫茶等のサービスをを行っているため、飲食サービスやお土産の販売、小浜温泉観光協会や旅館と連携したイベント、あるいは、外国人向けの浴衣を着て散策する企画、小浜温泉女将による接客サービスをこの施設管理に導入するなど、小浜温泉が持つサービスのノウハウと周辺の観光施設と連携し、資料館を活用していただければと考えている。



本委員会に付託された案件について、原案可決8件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

雲仙市下水道事業の設置等に関する条例の制定

質疑 第9条の「議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等」の『負担付き』とはどういうことか。

答弁 寄附の際になされた条件に基づき、自治体がある条件で契約を結ぶなど何らかの形で法的な義務を負い、その義務不履行の場合には、寄附が取り消される等、寄附の効果に影響を与えるものである。

質疑 具体的事例はどのようなものか。

答弁 下水道用地として土地を寄附しますという条件を付されて、その条件に基づき市と契約を行いながら、そこに下水道の施設を造らなかつた場合には寄附が取り消されるといふような事例である。

雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例

質疑 意思決定が困難な方々をどのように判断するのか。例えば、精神障害者

保健福祉手帳を持っている方などで判断するのか。

答弁 排水設備工事において、申請があった時点で、申請書類に基づき審査を行うようにしている。その申請を受け付ける際に、いろいろな聞き取りに対し、回答ができるかどうかを一つの基準にして判断する。

令和元年度一般会計補正予算（第5号）案

質疑 イノシシ等被害防止対策事業の人員費はどのような内容か。

答弁 ワイヤメッシュ柵や電気柵の実績を地図情報システムでデータ管理し、今後の捕獲対策を効率的、効果的に事業展開していくためのデータ入力として、臨時職員を雇用するものである。

令和元年度国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）案

質疑 一般会計から繰入金1805万6千円を繰り入れるが、今後も繰り入れを

していく考えなのか。

答弁 歳入歳出が不足するために赤字分として、まず当初予算で770万2千円を繰り入れていた。しかし、今回、今後の収支を試算すると、追加計上の繰入額分が不足するという結果となり、令和2年度においても大きく収支が変わる見込みはないため、同様の繰り入れを行わなければならないと考えている。

質疑 令和2年度以降の望洋荘のあり方はどう考えているのか。

答弁 令和2年4月1日から指定管理制度に移行するというところで募集をしたが、応募者がいなかった。今のところ直営で引き続き行うと考えているが、指定管理の時期は、内部で再度どのような時期がふさわしいのか検討をしなければならぬ。また、令和2年度には、指定管理あるいは直営で行うのかもあわせて、施設のある方についての検討を行わなければならない。

意見 正職員1名の常駐を

止め、嘱託職員で対応すれば人員費の削減ができるのではないかと。望洋荘のあり方検討委員会で答申が出され、運営方針としても、市長は指定管理でやっていくべきだろうということも言われている。それに向けて、指定管理料等を含め、1日も早く直営方針が変わるよう進めてもらいたい。

現地調査を実施

今回の議案について9箇所の現地調査を行いました。



市政を問う

6名の議員が一般質問



町田 康則…P10
山本 松一…P11

浦川 康二…P11
上田 篤…P12

酒井 恭二…P12
平野 利和…P13

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

犯罪被害者支援対策は



まちだ やすのり
町田 康則 議員

議員 平成30年6月に発生した東海道新幹線で乗客男女3人が殺傷された事件。犯人は「殺すつもりだった。誰でもよかった」という考えで3人の方が被害者となった。そういう被害者を救うために犯罪被害者等基本法ができ、支援条例ができています。また、今年の7月に精神障害者である男性が店に来て、スナックのママと男性客を刃物で何度も刺す事件があった。スナックのママは、この事件が要因となり、入院と引越したに200万円出費があり、その後、年金暮らしとなった。同事件の被害者であった男性客の居住地の自治体には犯罪被害者等支援条例があり、

支援金を受け取ったが、ママの居住する沼津市には犯罪被害者等支援条例がなく、支援金がなかった。同じ事件の被害者なのに違いがある。市長は、これをどう思うか。

市長 犯罪等による被害について第一義的責任を負うのは加害者である。しかし、国民の誰もが犯罪被害者等となる可能性が高まっている今こそ被害者の視点に立った施策を講じなければならない。犯罪被害者等基本法の中でも被害者の支援は、国・地方自治体及び国民の責務と明記してある。

議員 九州の佐賀、大分両県では、県内全部の自治体が犯罪被害者等支援条例を定め、長崎県内でも佐世保市、島原市など3市が定めている。雲仙市も早くすべきでは。

市民生活部長 来年3月の議会には提案できるよう取り組みたい。

健康寿命の延伸対策は



やまもと まついち
山本 松一 議員

議員 4 回目の質問となる

集会所のAED設置

議員 島原広域圏介護保険課運営費に、約8億円の負担金を出しているながら、介護保険課の介護予防事業8教室の中の4教室を雲仙市が実施しているのは理解できない。雲仙市に島原・諫早二つの広域圏組合があることや、負担金の問題も含め抜本的な見直しをすべきである。

議員 市の健康寿命について、保険事業実施計画では、男64・7歳、女66・7歳とあまりにも低い。市の総合計画では、男79・6歳、女84歳となっているが間違いないか。

地域振興部長 それぞれ、間違いではないが、今後は総合計画の数値に合わせるよう努める。

議員 島原広域圏介護保険課運営費に、約8億円の負担金を出しているながら、介護保険課の介護予防事業8教室の中の4教室を雲仙市が実施しているのは理解できない。雲仙市に島原・諫早二つの広域圏組合があることや、負担金の問題も含め抜本的な見直しをすべきである。

県道128号雲仙千々石線の管理

市民生活部長 通常の補助金申請と同様に金額の確認のため、見積書の提出をお願いしている。申請書の作成や、見積書の取得について積極的に可能な範囲で協力させていただく。合同購入も提案していきたい。

議員 道路改良が進んだ結果、雲仙への観光客を乗せたバスやトラック等大型車両が増えている。通行に支障をきたしている木や枝の伐採を県にお願できないか。

建設部長 適正な管理をお願いする。

が、自治会回覧で、AED購入申請の必要書類に見積書の写があつたが、各自治会がそれぞれ見積書を取るのか。私は前回、各自治会がまとまって一括購入した方が安く購入できて、2分の1の市の補助金も、自治会の負担金も安くなるので、一括購入に当たっては、市の自治会への協力をお願いしたが、できないのか。

広報行政の信頼性は



うらかわ やすじ
浦川 康二 議員

広報紙の記事誤りの要因

議員 広報うんぜん10月号で、記事の誤りが発覚しているが、要因は何か。

総務部長 記事の入稿時は誤りなく提出されていたが、受託業者がレイアウトを変更した際、初稿において誤っていた。担当は2回の校正時に誤りに気付かず発行した。

議員 11月号では2カ所のお詫びだが、同ページにさらに3カ所の誤り、また次のページにも3カ所の誤りが確認されている。人事行政運営等の記事で計8カ所となるが、市が誤りに気付かれた経緯は。

部長 10月号発行日に、広報うんぜんの視覚障害者用の声の広報を作成するメンバー

の方からの問い合わせにより、誤りが判明した。

議員 広報紙発行の決裁は秘書広報課長となっているが、今回の担当の校正ミスを防止するため、記事所管の部長の合議を受け副市長決裁による発刊を提案する。

スマホ用ホームページ不具合

議員 お問い合わせフォームの不具合発生の要因は。

総務部長 平成27年10月導入当初からお問い合わせフォームが機能していなかった。

議員 この不具合案件の発覚も市民からの通報によるものである。開設以来4年間で303人から390件の発信があつていたが、市長には一切届いていない状況であつた。この4年間を反省し、どのような対策を取られるのか。

市長 職員の資質、業務に関する内容であり、大変重く受け止めている。再発防止と信頼回復に取り組み以外ないという強い思いを持っている。

甘い！職員の懲戒処分

市長文書は市民の認識とズレ

議員 戒告処分を受けた職員
の行動はどういうものか。

市長 職務怠慢による事務
処理遅延及び勤務時間中にた
びたび長時間離席を繰り返し
ていた職務専念義務に違反す
る行為等を行っていた。

議員 市長名で出された文
書には「市民に大きな影響を
及ぼすようなことはなかった
とはいえ」とあるが、これは
市民の認識と大きくずれてい
る。文書に入れてはならない
言葉ではないか。

市長 その文言は私が決裁
した文書の中に確かにあっ
た。大変甘い判断をしてしま



あつし 上田 議員

い、深く反省しお詫びする。

給与の影響は195万円

議員 戒告処分について、
給与等の影響の説明を求める。

総務部長 給与の影響は①
令和元年12月支給の勤勉手当
(一時金、ボーナス) 支給率
の減、②令和2年4月昇給抑
制による給料の減(これは退
職まで影響)、③退職時の基
礎額の減などで、生涯の影響
額は約195万円ほどである。

議員 この処分をさらに重
くすることはできないのか。

部長 一回処分を決定した
分については再度処分するこ
とはできない。

議員 コンプライアンス
(法令遵守)の立場から、市
役所全体の問題とし捉えるべ
きではないか。

部長 研修科目に公務員倫
理を取り入れ、職員として必
要な倫理観の向上を図る。

ふるさと納税の推進を

議員 雲仙市はふるさと納
税制度をどのように活用しよ
うと考えているのか。

市長 市としては寄附者か
ら頂いた寄附金を各事業に活
用でき、かつ返礼品の市内協
力事業者、農水産物生産者な
ど地域産業の振興にもつな
がっており、今後もふるさと
納税を積極的に推進し、寄附
金の有効活用に取り組む。

議員 雲仙市のふるさと納
税の受け入れ額は平成30年度
の実績で、寄附額1億932
1万円、そして島原市は3億
3523万円、南島原市が3
億7881万円である。人口
規模、産業形態、交流人口に
おいて大差はないのに、この
大差は雲仙市にやる気や工夫
が足りないのではないのか。

市長 雲仙市は農業産出額
トップ、観光客数も長崎、佐



きょうじ さかい 酒井 議員

世保に次ぐ3位であり、ふる
さと納税を同じ土俵で競え
ば、雲仙市はしかるべきポジ
ションに立てるはず。そう
なっていない根本的な理由
は、マンパワーの不足だと思
うので、来年度からは他市と
イーブンに競える状況を整え
ることに全力で取り組む。

自治会清掃

議員 多くの自治会が実施
の道路清掃作業を市はどのよ
うに位置付けているのか。

建設部長 清掃は委託や要
請によるものではなく自治会
の自主的なボランティア的活
動と理解しているが、市道の
維持管理は市が行うべきもの
であるため、作業の経費を市
が負担し、支援を行っている。
議員 今後、事故防止にど
のように取り組むのか。

部長 あらゆる機会を通じ
事故防止の周知徹底を図り、
補償保険の加入を含め、自治
会の皆様が安心して参加でき
るよう制度の改善に取り組む。

福祉タクシー券活用は

タクシー券利用促進

議員 タクシー券の促進を考え、併用して公共交通機関に使える事を提案する。高齢者の事故防止の観点から必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 タクシー助成制度事業を重要な高齢者施策として位置づけ、公共交通政策部局と連携を図りながら

シルバー割引定期券の利用を調査して、本市地域の公共交通サービスの在り方の検証が必要と考える。

幼児オムツ持ち帰り

議員 保育園、幼稚園でのオムツは持ち帰らなければならないことを知らなかった。市内の状況は。



ひらの 利和 議員

健康福祉部長 使用済みのオムツ処理方法は、施設で処理する園が14園、持ち帰り園が11園、尿は持ち帰り、便は処理する園が2園である。

議員 衛生面で病気が出たときが心配だ。園の方と協議して最善の対処を望む。

病気予防や健康づくり

議員 国の交付金増額の記事があった。要は、病気予防や健康づくりに積極的に取り組んだ自治体を応援する内容だ。そこで、糖尿病性腎症重症化予防、いわゆる、糖尿病による重症化を予防するために「足病」の健診を導入することを提案する。

地域振興部長 下肢閉塞性動脈硬化症（足病）の予防健診は、医療費抑制につながる。専門的な知識が必要であり医師会等の専門的な機関に助言を求め、前向きに協議する。



小学生の皆さんが 議場を見学!



吾妻町川床小学校2年生の皆さんが、校外学習の一環として市役所を訪れ、議場を見学されました。





行政視察受入一覧

(H31.4月～R1.12月)

視察日	市議会名	委員会（会派）	視察内容
4月24日	福井県大野市	双葉会（会派）	・観光周遊促進強化事業 ・光り輝く雲仙力アップ事業
7月23日	島根県浜田市	総務文教委員会	・定住促進対策事業及び空き家活用促進事業
10月 2日	群馬県藤岡市	新志会（会派）	・地域資源を活かした観光振興
10月 8日	岐阜県 <small>かかみがはら</small> 各務原市	市議会公明党（会派）	・カップル応援事業
10月29日	岩手県花巻市	総務常任委員会	・定住促進対策事業及び空き家活用促進事業
10月30日	兵庫県赤穂市	<small>せきりょう</small> 赤諒会（会派）	・雲仙市の農業施策
11月 7日	宮崎県小林市	経済産業委員会	・光り輝く雲仙力アップ事業
11月14日	沖縄県名護市	にぬふあぶし名護（会派）	・雲仙市FRP漁船廃船処理事業（補助金）



研修終了後、
小浜温泉「ほっとふっと105」を
体験していただきました！

議会の会議録は雲仙市のホームページからも見るすることができます

一般質問を含む議会の会議録は、
インターネットを通じて自由に閲覧することができます。

雲仙市役所ホームページ を検索

雲仙市議会 をクリック

会議録 をクリック



発言者や内容により検索することができます。
令和元年第3回定例会分の掲載は、2月下旬頃を予定しております。

議会のうごき

11月26日 (火)

島原半島振興対策協議会他3期成会要望活動

松尾議長は25日の臨時会で議長に選出され、初めての公務となりましたが、就任の挨拶を兼ねて地元選出の国会議員等にも精力的に要望を行いました。加藤農林水産副大臣からは、半島三市が進めている基盤整備による農業所得の向上や後継者対策についての成果について、全国の参考となる事例であるとの発言がありました。



12月1日 (日)

雲仙市産業まつり～特産まんぞく市～

吾妻町の県南家畜市場で開催され、松尾議長ほか多くの市議会議員が出席しました。

当日は、雨の予報が一転、午前中は晴天にもなるなど暖かい一日だったため、大変多くの来場者で賑わっていました。

本産業祭の運営に携わられた関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

1月4日 (土)

令和2年雲仙市成人式

ハマユリックスホールで開催され、当日は、松尾議長をはじめ全議員も出席しており、480名の新成人の門出を祝いました。

20歳の主張を行った3名の新成人たちの発表も大変立派で、有望な若者たちによって、雲仙市が発展していくことを祈念いたします。



1月5日 (日)

令和2年雲仙市消防出初式

小浜マリンパーク広場で開催され、松尾議長が祝辞を述べました。多くの議員も出席しており、規律正しい消防団員等の行動を目の当りにして大変感銘を受けました。

これからも崇高な消防精神のもと、防火・防災活動に携わっていただき、火事のない雲仙市となりますことを祈念いたします。

議会を傍聴してみませんか？

令和2年第1回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
2月27日（木）～3月24日（火）です

- 一般質問 3月2日（月）～3月5日（木）
- 議案質疑 3月9日（月）
- 委員会
文教厚生常任委員会 3月10日（火）・11日（水）
産業建設常任委員会 3月10日（火）・11日（水）・12日（木）
総務常任委員会 3月12日（木）・13日（金）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、ぜひ議場へ足をお運びください。

編 集 後 記

昨年5月に新元号令和の時代がスタートし2年目に入りました。

2月4日は立春で、その前日が節分です。本来、節分は季節の節目で年4回ですが、旧暦では春から新しい年が始まるため立春の前日が重要視され、この日を節分とするようになったそうです。

広報編集特別委員会では、今年も開かれた議会推進のためのコミュニケーション誌づくりを目指して取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。（大山真一）



議会広報編集特別委員会

委員長 平野利和
副委員長 大山真一
委員 林田哲幸、佐藤義隆
矢崎勝己、藤本淳次郎

お知らせ

「議会だより」音訳CDの配布と貸出について



【音訳CDの配布】

身体障害者手帳（視覚に障害がある人）をお持ちの人に配布しています。ご希望の方は福祉課までご連絡ください。

【音訳CDの貸出】

貸出期間は2週間です。福祉課・総合窓口課・各総合支所地域振興課、雲仙市図書館及び各公民館図書室で貸し出しています。

問 福祉課 ☎0957-36-2500

上記、音訳CDの作成をしてくださっている「雲仙市音声訳会「やまぼうし」」の会の皆さんをご紹介します！



録音作業の様子

私たち「やまぼうし」の会は、以下のことを目的に活動しています。

- ・音声CDでの情報提供により、視覚障害者の福祉増進を図る。
- ・声のボランティアを通じて、地域の福祉施設等との交流を図る。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。